

魅力ある秘境五家荘の伝道師に

五家荘宿の会会長

緒方 勢一 さん（泉町）



この時期、五家荘地域では山一面に紅葉が広がり、それを目当てに県内外からの観光客が訪れる。しかし、年間を通して訪れる人の7割が登山者だという。その登山者が心と体を休める宿泊の場となっているのが、五家荘宿の会のメンバー8人が営む民宿だ。そのメンバーの会長を務めるのが、佐倉荘の緒方勢一さんである。

五家荘宿の会は、五家荘地域で力を合わせて活動していこうと平成19年に発足。これまで、宿ごとに竹灯籠を作っ**おもむき**趣のある宿を表現したり、地元の木材で旅館付近に案内看板を設置したり、宿名を入れたのれんを作ったりするなどの活動を行ってきた。また、宿泊の基本料金や飲み物の値段も統一した。

「8件が同じおもてなしをすることで、みんなが同じ方向を向き、1つになれたことが何よりもうれしい」と語る。2カ月に1度の例会ではいろいろな意見が飛

び交う。1つ1つの活動に会員のアイデアや思いを練り込んでいくことで絆が深まっていくという。

そして、昨年から新しい事業を始めた。その名も「五家荘の宝箱」。五家荘で代々伝わる山の幸料理が詰まったおせち料理の販売だ。鹿肉やヤマメ、はやと瓜など、五家荘ならではのメニュー20種類以上が並ぶ。材料は猟師や民宿の女将さんたちが、地元の人々の協力を得ながら調達し、調理は女将さんたちが中心となっている。

メニュー決めやレシピ作りも試行錯誤した。みんなで集まって試作品を作っては意見を出し合い、微妙な調味料の量などを調整し、1年がかりで完成した。□コミやインターネットで情報が広がり、昨年は福岡や鹿児島などの県外からも申し込みがあり即日完売。今年は一急発起して昨年の2倍の200セットを準備する予定だという。「五家荘らしさを詰め込んだ、他では作れないおせちです」と五家荘の食文化を伝える宝箱となっていると自負する。

これを機会に、「五家荘を訪れていただき、都会では味わえない自然豊かな光景や山里の食文化を心ゆくまで堪能して欲しい。また、そこに住む人の人なつっこさを是非、肌で感じて欲しい」と五家荘の振興に力を込める。



▲今年販売予定の五家荘の宝箱(盛りつけ例)
※重箱は付属していません。



2015.NOVEMBER

No.131

- 3 八代妙見祭
- 7 平成28年度 市立幼稚園園児募集
- 8 平成28年度 保育園入園申込み
- 10 「もしかして」あなたが救う 小さな手
児童虐待防止推進月間
- 11 地震・津波に備える
- 12 忘れない暮らしの下に 下水道
- 14 暮らしの情報
- 16 市民カレンダー
- 18 暮らしの情報
- 27 広告
- 28 まちのわだい
- 31 伝言板
- 32 五家荘紅葉祭

今月の表紙



10月17日、全国の花火師が技を競う「第28回やつしろ全国花火競技大会」が球磨川河川緑地で行われ、約30万人が訪れました。

今年も夜空に色とりどりの美しい大輪の花が開花。会場からは、「わあ」「きれい」という歓喜と感動の声が上がっていました。